

全国の歯医者さんへ



夢みるこども基金 だより

夏のイベント

日本と
バングラデシュの
夢と絆の架け橋

特集

夢追うOB・OGたち!!

イメージキャラクター
はミンゲ・
はっくん

歯医者さんありがとう!

こどもの夢応援団

主催: 夢みるこども基金

後援: 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市、福岡市教育委員会、佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀市、佐賀市教育委員会、佐賀森林管理署など



イメージキャラクター
はミンがはっくん

夢みるこども基金だより 祝 20号発行

歯医者さんありがとう!



第21回

夢みるこどもイベント

日本とバングラデシュの
夢と絆の架け橋



国境を越えた友情とふれあいが花開く

「いただいた

ご厚意と感動を決して

忘れません!」

瞳を輝かせバングラデシュの少女は
全身で感激を伝えました。

基金の援助で平成12年同国に開校した「夢みるこども基金学校」から初めて生徒を招き、基金の作文・絵コンクール(応募作1,851点から小、中学生46人が入賞)で全国から選ばれたこどもたちとの心通い合う国際交流イベントは、満場に響きわたる拍手の中で感動のフィナーレを迎えました。

全国の歯科医院のご協力により21年目を迎えた今年のイベントは「日本とバングラデシュの夢と絆の架け橋」をテーマに、8月23日、福岡市の西南学院大学で開かれました。基金の招待で副校長と生徒5人が来日、民族衣装で歌や踊りを披露、浴衣姿で皆が輪になって炭坑節を踊るなどしたほか、互いの日常生活を紹介、質問し合うなどの文化交流を行いました。22日の前夜祭は佐賀市三瀬村「夢みるこ

ども基金の森」で散策や秘密基地づくりで森に親しみ、恵み豊かな日本の自然に歓声を上げていました。

こどもたちの輝く眼差しから地域に教育の基盤をと設置した同校が、将来国を背負って立つ人材を育てる名門校として着実に成長している様子が伝わりました。自国の伝統文化に誇りを持ちながら日本を絶賛、温かな人々とのふれあいに感激し勉強して将来は日本へ、と語る生徒たちと日本のこどもたちは精一杯の英語でコミュニケーションをはかり、国境を越えた熱い友情を育みました。活動をご支援いただく「保護者の会」の発足、全国から応援に駆け付けた基金OB・OGの立派に成長した姿と併せ、これまでの歩みが確かなものであったことを実感しました。

○ イベント日程

- 1日目/8月22日(土)
佐賀市 遊々の森「夢みるこども基金の森」で野外活動
- 2日目/8月23日(日)
福岡市 西南学院大学で開会セレモニー、意見交換会、双方の国の歌や踊りの発表、ピアノ演奏、こどもミュージカル、手話ダンスなど

「夢みるこども基金学校」の生徒たちの 伝統舞踊を楽しみました!



Bangladesh

今年のイベント第2部では、基金学校の5人のこどもたちが母国バングラデシュの伝統衣装を身にとって伝統舞踊を披露しました。会場に集まった約200人の観客はステージ上で次々と披露される鮮やかな民族衣装や民族楽器に見惚れ、異国調でありながらどこか懐かしいその音色に浸りました。そして、客席最前列では日本のこどもたちが異国から来た夢みる仲間たちの演奏や演技を興味深そうに観て、拍手でエールを送っていました。

舞台の合間には、キャンペーンのOGで基金実行委員のラフマン・シヤハナさんがバングラデシュの歴史や伝統文化を

バングラデシュの発表

日本語で紹介し、文化を丸ごと体感することができました。

母国バングラデシュを飛びだし、遠い日本の地で母国の伝統文化を披露する基金学校のこどもたちの表情には母国発展への熱い思いがあり、その目には輝かしいバングラデシュの未来が映っていました。



Japan



日本の発表

「月が出た出た月が出た、ヨイヨイ」

リズムのいい掛け声とともに、「炭坑節」を踊るのは日本とバングラデシュ両国から集まったこどもたち。戦後の経済復興期に日本全国に広まった民謡を、今まさに経済成長著しいバングラデシュのこどもたちが踊り、会場にいた大人の皆さんにはかつての高度経済成長に沸く日本を彷彿とさせたのではないだろうか。

イベントの前、こどもたちは限られた時間の中で発表に向けて練習しました。こどもたちはお互いに言葉が通じないながらも、互いに踊りをチェックし合って振付を確認しました。そしていざ本番となり、ス

ステージ上で踊るこどもたちの顔には満面の笑みがあり、ステージを華やかに飾りました。演技が終了し、ステージを後にすることもたちの間からは「楽しかった!」や「また踊りたい!」との声が聞こえました。その幸せそうな声を聞いた時は、日本とバングラデシュの永遠の友好を確信するのでした。



観客席で合唱するこどもたち



きれいな歌声が、響きわたりました!

バングラデシュと日本の 子どもたちが意見交換



制服等での登校



日本の登校風景



意見交換会

今回のイベントの最大の目玉である、日本の子どもたちと基金学校の子どもたちによる「意見交換会」では、お互いの国の習慣について活発な意見が交わされました。

基金学校の子どもたちは日本の子どもたちに定期試験の回数や休みの日の過ごし方について質問し、日本の子どもたちが休みの日に部活動に取り組んだり学習塾に通ったりしていることに大変驚いていました。そして、「日本の子どもたちには休みがないの」と心配していました。

一方、日本の子どもたちは基金学校の子どもたちが給食時間後に皆で歯みがきをしている話に大変驚いていました。ここで司会者が日本の子どもたちに給食後歯みがきをしているか尋ねたところ、半数以下の子どもたちからしか手が上がりました。日本の子どもたちも基金学校の子どもたちを見習ってほしいですね。



時計を見ながら学校生活の報告

手話ダンス・ 歌の発表

今年も手話ダンスYOU & I 北野に所属する子どもたちの手話ダンスがありました。毎年人気の演目です。

昨年作られた「夢みる子ども基金の森」のイメージソングの「みんなの森」も披露され、手話で表現することで会場全体が和やかな雰囲気になりました。そして今回の特別ゲストとして福岡在住のピアニストである金蔵直子さんのピアノ演奏がありました。金蔵さんは、武蔵野音楽大学を卒業後、日本航空の客室乗務員をした後、ニューヨークのジュリアード



手話ダンス

音楽院で学んだ異色の経歴です。帰国後は日本各地でソロの他、合唱やオペラの伴奏で活躍しています。ボーカルは、プロ合唱団「日本合唱協会」の男性コーラス「ミュージカルアカデミー」の団員であり、ミュージカルメイツ・プランニングの代表を務める井上寿夫さん。子どもたちを歌の世界へ引き込む力は素晴らしい、日本の童謡「花の街」「うみ」などを2人のコラボレーションで奏で、会場を沸かせました。

またミュージカルメイツ・プランニングの子どもたちによる歌とダンスも披露されました。曲目は「おもちゃのチャチャチャ」や「上を向いて歩こう」などで、ピエロに変装した可愛らしい姿でした。バングラデシュの子どもたちも興味深く見入っていました。



金蔵 直子さんと井上 寿夫さん



開会宣言！

も、初めての国際交流にわくわくしているようでした。



開会の挨拶をする中島常任理事



最優秀賞の絵を披露する田畑早彩さん

「開会セレモニー」

夏のイベントは、例年、基金のこともたちによる開会宣言から始まります。しかし、今年は2人のこどもが登壇しました。1人は日本人。そして、もう1人はバングラデシュ人です。日本語とベンガル語の挨拶でスタートしました。

イベントのテーマは「日本とバングラデシュの夢と絆の架け橋」。基金の常任理事である中島和男西南学院大学教授による開会の挨拶は日本語と英語でした。そしてバングラデシュ「夢みるこども基金学校」へ基金からの寄付金の贈呈、最優秀作文・絵の披露がありました。バングラデシュのこどもたちへは、キャンペーンのOGで基金実行委員のラフマン・シャハナさんによるリアルタイムでのベンガル語の通訳が入ります。参加した基金のこどもたちも、初めての国際交流にわくわくしているようでした。

「閉会セレモニー」

閉会式は、今回参加のこどもたちによる『こども宣言』から始まりました。発表したのは、宮城県気仙沼市立唐桑中学校2年の伊藤夕妃さんと福岡県宗像市立河東中学校3年の古賀美陽子さん。大きな声で「私たちはこの夢みるこどもキャンペーンがこれからもたくさんさんの夢と友情をつなげてくれることを願っています」と宣言しました。

続いてバングラデシュのこどもたちが「長年の夢だった日本にいられて皆さんに出会えて嬉しかった」と挨拶。また、バングラデシュの夢みるこども基金学校のハサヌル・ザマン・ビッシャシュ副校長が「夢みるこども基金学校は今やバングラデシュの有数の進学校になり、有能な人材をたくさん輩出しています。基金の協力に感謝しています」と述べました。

その後、参加のこどもたち、OB・OG総勢20名以上が壇上に上がり、基金のテーマソングである「Don't Stop My Dream」を合唱しました。また、閉会の挨拶で夢みるこども基金OB・



テーマソングの合唱



開会の挨拶をするハサヌル副校長

OG会長である長尾怜美さんが「基金のこどもたちと夢みるこども基金学校のこどもたちがこうして一緒にイベントを作ることが出来て感動しています」と述べ、2日間のイベントは幕を閉じました。

『こども宣言』全文を6ページに掲載しています。



スイカ割り、命中！

その後はNPO法人ビッグリーフの久保基行さんらの案内で森の中を散策しました。枯れ木に繁茂したコケをさわったり、小さな川をみたりと、こどもたちは森の生き物を見て、触れることができました。森の奥へ行くと、昔使われていた炭

まず、林野庁佐賀森林管理署長の森勇二さんから森に関する説明がありました。今年はバングラデシュのこどもたちも参加していたことから、署長さんからバングラデシュに関する話もありました。

夏のイベントの1日目は、基金の森で行われました。こどもたちはバスから降りると、ヘルメットをかぶり、森へ入って行きました。



基金の森で自然散策

焼きの跡がありました。バングラデシュのこどもたちは「ここで祈りするの？」や「ここには小さな建物があったんだ」と想像を膨らませていました。散策後はこどもたちを1組5人前後のグループに分け、それぞれで秘密基地づくりをしました。竹や木の材料を使った自然の秘密基地づくりはこどもたちにも大人気で、次々と材料を運んでいました。完成した秘密基地でのグループごとの記念写真では、みんなが笑顔になっていました。

新しい友情が広がる笑顔の2日間でした。

生の魚は
苦手だったけど
おいしかったよ



回転寿司屋で日本食に挑戦



全員で記念撮影

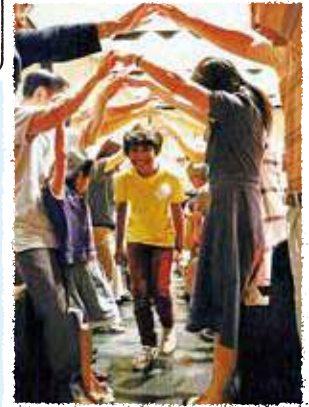
基金学校の
ともだちとも
つくりたい



本番前にリラックス



うちわづくりも初めて



人のトンネルをくぐっての別れ



宿舎でつるぐこどもたち

バングラデシュ夢みる子ども基金学校
副校長と5人のこどもたち
からのメッセージ



浴衣と基平に着替えて出番を待つ

Hasanur Jaman Biswas (ハサヌル・ザマン・ビシヤシュ) 副校長

夢みる子ども基金の招聘を受けて5人の生徒を連れて8月19日に福岡に来ました。初めての外国訪問で不安もありましたが、日本人の接待、清潔さや時間に対する真剣さを見てとても感動しました。基金学校の生徒たちはイベントでの出し物などは自分たちで企画し、みんなの前で発表しました。こども基金があったからこそ、こどもたちはこのように成長しているに違いありません。このような交流会はこれからも続くことを希望します。

Abid Al Ferdous (アビード・アル・フェルドース) 君(男子)

初めての海外訪問。日本人の親切さ、街の清潔さがとても目立っています。また日本にきます。そして今回出会った人たちと再会し、たくさんのともだちをつくりたいです。

Jaba Anika (ジャバ・アニカ) さん(女子)

こども基金主催のイベントに参加して日本人の生活様式、文化などに触れることができました。それらを自分自身の生活に反映し、国づくりに役立てたいです。私たちにこのような素晴らしい機会を与えてくださった夢みる子ども基金の関係者に感謝の気持ちを述べたいです。

Zinat Asuza Tanin (ジナート・アスザ・タニン) さん(女子)

すべての人々はきっと夢をみます。私も夢をみるのです。飛行機に乗って日本に来ることが私の夢でした。その夢を実現させてくださった関係者に心の底から感謝したいです。多くの日本人と出会って楽しかったです。

Sabia Sanjida Setu (サビア・サンジダ・セトゥ) さん(女子)

夢みる子ども基金が夢の手を差しのべてくれて日本に来ることができました。こんな楽しい日々を過ごせるとは想像もしていませんでした。こども基金は私の心の中に刻まれています。一生忘れられません。

Kaniz Fatima Labony (カニズ・ファティマ・ラボニー) さん(女子)

日本に来ることが夢でした。日本はバングラデシュのためにどんなに協力してくださっているかを自分の目で確かめることができました。また日本に来たいです。日本でたくさん勉強し、多くのことを学びたいです。日本人とずっとずっと仲良くしていきたいです。

第21回 こども宣言



左) 伊藤 夕妃さん(宮城県気仙沼市立唐桑中学校2年)
右) 古賀 美陽子さん(福岡県宗像市立河東中学校3年)

私たちの夢と希望が多くの方々との協力で実を結びました。

全国各地やバングラデシュから駆け付けた仲間が今日福岡市に集い、夢みるこどもキャンペーン第21回イベントが開催されました。特に基金が2000年に開設したバングラデシュの夢みるこども基金学校から中学生5名と副校長が初めて参加してくださいました。

イベント初日は、佐賀県・脊振山系の「夢みるこども基金の森」で自然観察や秘密基地づくりなどを行いました。翌日のイベント本番では互いに出し物を披露し合ったりすることで、お互いの文化や習慣に触れ、お互いを認め合うことで確かな友情と強い信頼を築くことができました。「夢みるこども基金」の新しい家族の誕生です。

友情とは国境や宗教・文化を越えた絆です。夢は海を越え世界をひとつにします。

今年からちょうど5年後の2020年、世界がひとつになる平和の祭典・オリンピックが東京で開催されます。世界から日本に集まる各国のトップ選手たちは、それぞれの国や民族の誇り、そして夢を懸けて懸命に戦い、私たちに勇気と感動を与えてくれることでしょう。もしかすると、今日この場ににいる仲間からも将来のオリンピック選手が誕生するかもしれません。夢はひとりでは叶えられません。オリンピックに出場する選手たちのそばには常に彼らを支える家族や仲間がいます。私たちの回りにも、いつも私たちを見守ってくれる両親や学校の先生、一緒にいてくれる友だち、そして、遠い異国の地から応援してくれる仲間がいます。私たちは私たちを支えてくれる、すべての人への感謝の気持ちを忘れずに、夢に向かって走り続けて行きます。

今回のイベントは、わずか2日間でしたが、私たちはいつもそれぞれの夢を掲げて努力し、平和に満ちた世界で活躍できるよう、日本とバングラデシュ、そして両国と世界を繋ぐ友好の架け橋となることを誓います。

「わたしのかなえたい夢」

私のかなえたい夢(教師)

作文の部

最優秀賞



近藤 彩香さん
福岡大学附属大濠中学校
1年(入賞当時)

私の夢は小学校の教師です。私の両親は教師なので物心ついた時から私は教師の仕事を見てきました。それは決して楽な仕事ではありませんが、私には楽しそうに見えるのです。

普通、小学校低学年の子供はケーキ屋、花屋などのおしゃれな仕事に就きたいと言うでしょう。しかし私は、そのような仕事より教師になりたいです。

それは、今まで小学校一年生から六年生まで、私を成長させてくださった先生たちのように自分の生徒を成長させたいと思ったからです。小学生とはとても大切な時期だと思います。

自分の世界観が狭く、身近な大人以外からはなかなか情報が受け取りにくいのです。

だからこそ、私はその大切な時期に子供たちに正しく大切な情報を受けとってほしいです。

中学校や高等学校も正しい情報が必要ですが、彼らはもう自立しています。

自分で考え行動できます。その考える力を得るのが小学校だと思っています。

今の世界は機械化が進んでいます。その中で、授業に電気機械を取り入れている学校もあります。何十年後には教師がロボットになってしまふ可能性があります。それにより子供の学力はよくなるかもしれませんが、しかし、人間性が欠けてしまうのではないかと思います。人間ほど感情豊かな生き物はいません。だからロボットにはできない、人間にしかできない教育があると思います。

私の夢は教師です。

学業はもちろんですが私は将来どのような人に会っても通用するような大人を育てるための土台となる、小学校での経験を大切にしてほしいです。

その土台をしっかりつくる手助けをしたいと思います。

教師とは、今と今後を支え、役に立つ誇り高い職業だと思います。

優秀賞

ゆめ

(指導犬訓練士)

福村 凜太郎君
鹿児島市立和田小学校
3年(入賞当時)



優秀賞

必笑
(ヒツショウ)

三芳 源君
名古屋市立宮根小学校
6年(入賞当時)



優秀賞

学校に行きたい

堀江 菜実さん
福岡市立城南小学校
4年(入賞当時)



第21回 作文の部・入賞者リスト(24名) 応募総数/1,234点

	名前	学校名	題名
最優秀賞	近藤 彩香 (女)	福岡県 福岡大学附属大濠中学校 1年	私のかなえたい夢 (教師)
優秀賞	福村 凜太郎 (男)	鹿児島県 鹿児島市立和田小学校 3年	ゆめ (指導犬訓練士)
優秀賞	三芳 源 (男)	愛知県 名古屋市立宮根小学校 6年	必笑 (ヒツショウ)
優秀賞	堀江 菜実 (女)	福岡県 福岡市立城南小学校 4年	学校に行きたい
特選	濱原 稜 (男)	福岡県 春日市立春日原小学校 5年	将来の夢 (人にやくだつ会社をもつ)
特選	久保田 真里 (女)	福岡県 福岡大学附属大濠中学校 1年	叶えたい夢 (医者になりたい)
特選	櫻井 蒼海 (男)	鹿児島県 出水市立蔵島小学校 4年	かなえたい夢 (大工)
特選	柴田 優希 (女)	福岡県 福岡市立原北中学校 2年	私の夢 (音楽の力)
特選	伊藤 夕妃 (女)	宮城県 気仙沼市立唐桑中学校 1年	最高のおもてなしを世界に
入選	梅谷 光 (女)	福岡県 福岡市立笹丘小学校 2年	絵をかく人になりたい
入選	村上 陽海 (女)	宮城県 気仙沼市立唐桑中学校 1年	わたしの願い (音楽で人に元気を与える)
入選	秋田 梨愛 (女)	鹿児島県 鹿児島市立武小学校 3年	ピアノでみんなにえがおを
入選	杉山 里緒 (女)	福岡県 福岡大学附属大濠中学校 2年	わたしのかなえたい夢 (国境なき医師団の医師)
入選	畑中 明 (女)	福岡県 西南学院小学校 3年	わたしのかなえたい夢 (お医者さんになりたい)
入選	藤 ひなた (女)	福岡県 福岡市立横手小学校 3年	おさかなとパーティー
入選	大石 海愛 (女)	福岡県 福岡市立西花畑小学校 4年	私のしょうらいの夢の一步 (パティシエール)
入選	古川 蒼太郎 (男)	福岡県 福岡市立笠井小学校 4年	僕の叶えたい夢 (理論物理学)
入選	畑 風歌 (女)	福岡県 福岡市立香椎小学校 6年	夢と感動を与えたい!
入選	梅川 約羽 (女)	福岡県 福岡市立横手小学校 3年	わたしのかなえたいゆめ (ピアニスト)
入選	堤 健人 (男)	福岡県 福岡市立原北中学校 2年	かなえたい夢 (ロボット開発者)
入選	竹林 美千花 (女)	福岡県 行橋市立行橋北小学校 3年	わたしのかなえたいゆめ (動物と話したい)
入選	八十田 真央 (女)	福岡県 福岡市立原小学校 4年	私の大きな夢 (お医者さんになりたい)
入選	岩川 かのかん (女)	鹿児島県 鹿児島市立春山小学校 3年	心で通じあいたい
入選	池永 拓朗 (男)	福岡県 北九州市立篠崎中学校 2年	僕の将来の夢 (ゲーム会社の社長)

第21回 絵の部・入賞者リスト(22名) 応募総数/617点

	名前	学校名	題名
最優秀賞	田畑 早彩 (女)	鹿児島県 鹿児島市立伊敷台小学校 2年	世界中の本を読んでみたい!
優秀賞	坂元 鮎人 (男)	福岡県 福岡市立野間中学校 2年	雲上で穏やかに過ごすこと
優秀賞	緒方 太郎 (男)	福岡県 福岡市立横手小学校 5年	土星から地球を見てみたい
特選	古賀 美陽子 (女)	福岡県 宗像市立河東中学校 2年	人を支える人になる
特選	小野 鈴太郎 (男)	東京都 大田区立馬込中学校 2年	考古学人生 (考古学になり化石や遺跡を発掘したい)
特選	橋本 健太郎 (男)	大阪府 池田市立栗野小学校 4年	彫刻家
特選	石川 恭平 (男)	福岡県 福岡市立野間中学校 2年	魔法の部屋
入選	増田 和夏子 (女)	鹿児島県 鹿児島市立武小学校 3年	あんな星見つけたいな
入選	植山 樹優 (女)	兵庫県 関西学院初等部 2年	昆虫館のしくいんになりたい
入選	金子 和矢 (男)	東京都 世田谷区立桜丘小学校 5年	古生物学者になって新発見
入選	南里 菜々子 (女)	佐賀県 佐賀市立西賀小学校 4年	ゆたかでのぎやかでおちつけるまち
入選	小西 一真 (男)	大阪府 松原市立中央小学校 6年	大相撲
入選	島田 柚希 (女)	福岡県 福岡市立横手小学校 2年	こんなケーキがたべたい
入選	下野 聖矢 (男)	福岡県 福岡市立横手小学校 5年	パラグライダーで火星探検
入選	奥野 浩輔 (男)	福岡県 朝倉市立金川小学校 2年	電車の運転士さん
入選	日高 菜々子 (女)	福岡県 直方市立直方第三中学校 1年	私の将来の夢と夢たち (教師)
入選	伊東 萌 (女)	福岡県 宗像市立河東中学校 1年	ファッションデザイナー
入選	宮崎 啓輔 (男)	福岡県 福岡市立愛宕浜小学校 5年	海上保安官
入選	宇都宮 ひかり (女)	福岡県 行橋市立行橋北小学校 3年	デザイナーになりたい
入選	岡本 康平 (男)	鹿児島県 鹿児島市立武小学校 2年	テニスチャンピオン
入選	Kariz Fatima Labony (女)	バングラデシュ 夢みるこども基金学校 8年	少女とリス
入選	Raihanatul Jannat (女)	バングラデシュ 夢みるこども基金学校 7年	美しいバングラデシュ



世界中の本を読みたいな！

絵の部

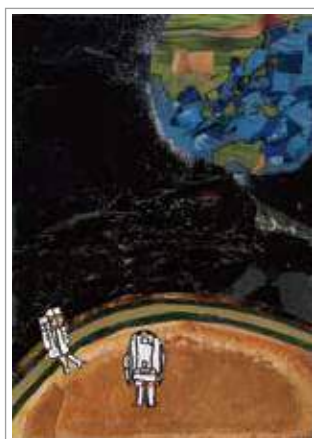


最優秀賞



田畑 早彩さん
鹿児島市立伊敷台小学校
2年（入賞当時）

1年生の時、クラスの中で読書の数が1番になりました。もっとたくさんの本を読みたいと思ったので描きました。



土星から地球を見てみたい



優秀賞

緒方 太郎君
福岡市立横手小学校
5年（入賞当時）



雲上で穏やかに過ごすこと



優秀賞

坂元 鮎人君
福岡市立野間中学校
2年（入賞当時）

第21回

こども会議



「バン格拉デシユの仲間
最高のもてなしを」などの
意見が相次ぐ

夢みるこども基金は3月29日、夢みるこどもキャンペーン・第21回「こども会議」を福岡市のアクロス福岡で開催しました。会議には1月に全国で募集した「私のかねえたい夢」作文・絵コンクールに上位入賞したこどもたち22名が出席し、それぞれのかねえたい夢や夏に開催されるイベントの構想について話し合いました。

会議に先立ち、キャンペーンを通じて夢をかなえた長尾怜美さん（OB・OG会会長・基金理事）が講演し、出席したこどもたちに熱いメッセージを贈りました。また、西南学院大学のグリーククラブOB有志によ

夢みるこども基金は3月29日、夢みるこどもキャンペーン・第21回「こども会議」を福岡市のアクロス福岡で開催しました。会議には1月に全国で募集した「私のかねえたい夢」作文・絵コンクールに上位入賞したこどもたち22名が出席し、それぞれのかねえたい夢や夏に開催されるイベントの構想について話し合いました。

会議に先立ち、キャンペーンを通じて夢をかなえた長尾怜美さん（OB・OG会会長・基金理事）が講演し、出席したこどもたちに熱いメッセージを贈りました。また、西南学院大学のグリーククラブOB有志によ

夢みるこども基金は3月29日、夢みるこどもキャンペーン・第21回「こども会議」を福岡市のアクロス福岡で開催しました。会議には1月に全国で募集した「私のかねえたい夢」作文・絵コンクールに上位入賞したこどもたち22名が出席し、それぞれのかねえたい夢や夏に開催されるイベントの構想について話し合いました。

会議に先立ち、キャンペーンを通じて夢をかなえた長尾怜美さん（OB・OG会会長・基金理事）が講演し、出席したこどもたちに熱いメッセージを贈りました。また、西南学院大学のグリーククラブOB有志によ

る男声合唱団「西南シャントゥール」の皆さんが合唱を披露し、こどもたちに入賞への祝福と夢へのエールを届けました。

会議の冒頭、基金の事務局から今回のイベントにバン格拉デシユの「夢みるこども基金学校」のこどもたちを招待することが発表されました。ディズニールンドのキャストになることを夢みる、伊藤夕妃さんが「遠くバン格拉デシユから日本に来る夢みる仲間たちに、最高のおもてなしを」と語り、会場からは大きな拍手が湧きました。会議ではバン格拉デシユのこどもたちと交流したという意見が多く出され、たくさんの交流プログラムが提案されました。日本とバングラ



「夢みるこども基金」活動の流れ



イメージキャラクター
はミンゲ・
はッケン

こどもたちの夢実現への架け橋として

こどもたちの「夢」を実現するキャンペーンは、こどもたちからの「夢」の作文・絵の募集と、これを支える財源となる歯の金属冠回収が両輪となっています。

金属冠は全国の歯科医院、歯科大学、歯科医療機関などが「協力歯科医院」として登録をして診療の際に取り外した金属冠を基金に送っていただいています。

協力歯科医院になってくださったら、基金からポスターとステッカー、金属冠を貯める回収箱をお送りします。基金では毎年10月と11月を金属冠定期回収月間としており、歯科医院からの連絡を受けると回収に当たっています。送料は不要です。

現在、協力歯科医院は1,090施設あります。ピーク時には1,800ありましたが、高齢化などによる廃業なども目立っています。しかし全国には約6万の歯科施設があります。もっと協力歯科医院を増やしてキャンペーンの輪を広げ、こどもたちの「夢」をかなえていきたいと思っています。

換金された
リサイクル益金は、
**こどもたちの夢の実現、
被災地や福祉の支援、
海外支援**
に役立ちます!!



私たちスタッフも
夢みるこどもたちの
様々な活動を
サポートします。

集まった金属冠を
**金属塊に再生後
換金**

「夢みるこども基金」
事務局からお伺いし、
回収から換金まで
いたします。



夢みるこどもたちのサポーターに!!
歯科医院
(患者様同意)や
個人の方が
**不要になった
金属冠を寄付**
※回収は無料です



私たちにも
できることが
ありました。

これまで20回の歴史を重ねて来たイベントはすべて、こどもたちから作文と絵で寄せられた「夢」を実現したものです。
作文と絵の募集は毎年9月1日から翌年の1月15日まで、全国の小学生から中学2年生までを対象に行っています。中学3年生を外したのは高校進学でイベントに参加が難しいことを考慮したものです。
作文、絵とも題は「わたしのかなえない夢」です。今、自分が向き合っている身近な夢、遠い将来を見据えたものなど内容は自由。基金の理事・役員が中心になって審査して最優秀、優秀、特選、入選、佳作を決めています。応募点数はこれまで最多は約4千点でしたが、ここ数年は2千〜3千点です。このうち上位入賞者を春休みに福岡へ招いて表彰式の後「こども会議」を開いて夏のイベントの内容を決めています。福岡県や福岡市それに教育委員会などが後援をしています。作品募集のチラシを配っていますが、個人での応募もできます。みんな作品を送ってください。待っています。(応募は基金事務局へ)

夢実現プロジェクトの流れ (夏休みに行うメインのイベント)

1年間、
夢実現のために
準備・活動します

イベント開催



8月

毎年夏休みにこども会議で決まった内容でイベントを行っています。

詳しくはp.1-6へ→

こども会議



3月
下旬

毎年春休みにコンクール上位入賞者を福岡に集めて開催しています。

詳しくはp.8へ→

審査



2月
中旬

理事・役員たちによる厳選な審査

作品募集



9~1月
中旬

毎年9月1日~翌年1月15日まで「夢」をテーマに作文と絵を募集します。

1995年～2015年 → 未来へ

これまでも、これからも。こどもたちに夢を！

夢みるこども
キャンペーン
イベント

設立以来21年間、ご提供いただきました“金属冠”は換金され、
夢みるこどもたちの支援のほか
被災地や福祉、海外の支援にも役立てられました。



第5回 ケーキがつなぐ友情の輪。大きなケーキづくり



第2回 阿蘇こどもどり村。筋ジスのこどもバンドも参加



第9回 イラクに贈ったパッチワークづくり



第4回 夢の放送局



第1回 基金の旗をあげるこどもたち(熊本県 阿蘇)



第20回 記念の大きな貼り絵づくり



第13回 震災地の福岡県玄海島を慰問



第18回 前夜祭で古民家に宿泊



第19回 女川町の石碑建立の街頭募金



第6回 アフリカに贈る食物の種子の収穫をするアグネス・チャン理事

バングラデシュ 夢みるこども基金学校



(小・中・高校)建設・運営 寄付
13,494,353 円

盲導犬「はっくん」



盲導犬
はっくん
3号

九州盲導犬協会へ
盲導犬「はっくん」
(1号・2号・3号)贈呈
4,600,000 円

夢みるこども基金の森



秘密基地づくり



巣箱設置

(平成7年8月～平成27年8月まで)「夢みるこども基金」寄付合計
地震被災地、夢みるこども基金学校、盲導犬など **32,793,530 円**を寄付

夢を追うOB・OGたち!!

基金のイベントに参加したOB・OGはそれぞれの夢を掲げて今も頑張っています。

第1回

夢みることもキャンペーン「作文の部で最優秀賞受賞」

私の夢



福岡県 小郡市立小郡小学校4年
(入賞当時)

長尾 怜美さん

2015...1995



歯科医師(歯学博士)
夢みることも基金理事

人生の最後まで夢を追います

夢みることも基金との出会いが私の歯科医師への夢のスタートでした。幼い頃は、両親が薬剤師をしていたということもあり、医療職への憧れはありましたが、具体的な夢は特になくありませんでした。小学5年生のときに、基金との出会いから、「歯医者さんは私たちの夢を応援してくれるあしながおじさん」と感銘を受け、初めて歯科医師という職業に興味をもったことがこの道を志したきっかけです。今、私は歯科医師としてもこ

神戸を中心とした大地震がおき、あれから、毎日のようにテレビや新聞などで、ボランティアとして活躍する人々を見てきました。

全国各地から集まった看護婦さん、無料で家を修理してくれる大工さん、大きなバイクに乗って走り回る若い男の人たち、炊き出しや、募金をする芸能人たち、町をさまよう大や木こを集めて世話する人たちが、受験生に教える大学生のお兄さんお姉さんたち、こわれた家から無傷で見つかったフルートを片手に、あちこちの避難所を回って吹くフルート演奏家。ふるさとという曲は、みんな涙を流しながら、アンコールの拍手をしていました。私も涙が止まりませんでした。

どうして、このようなボランティアの人たちを見るとこんなにも、優しく胸が熱くなるのでしょうか。

人間は、一人一人は弱いけど、みんな助け合って人は強くなれるんだと思います。そして、強くなるのは偉いじゃなくていいんだと思います。

私は、どんな事でも人を助けられるのか、まだよく分かりませんが、でも人の心を暖かく強くできる人になりたいと今思っています。

どもたちに関わる仕事がしたいと思ひ、小児歯科医の道歩んでいふ。日々、診療で悩みながらも、仕事はともやうがいがあり充実しています。ただ、夢であつた歯科医師になつても、不思議と夢を叶えたという実感はなく、さらなる夢がどんどん生まれてきます。きっと人は人生を終えるその瞬間まで夢を追い続ける生き物なのだと思ひます。これからも仕事のみならず、さまざまな分野に目を向けて最高の人生を邁進していききたいと思ひます。

第16回

夢みることもキャンペーン「作文の部で入選受賞」

サインは筆で書くぞ



埼玉県 蓮田市立黒浜小学校4年
(入賞当時)

中原 大成君

2015...2010



慶應義塾志木高等学校1年

いざ、憧れの舞台へ!

「頑張れ!頑張れ!大成!」小さい頃、神宮球場で早慶戦を見て、いつかあの大声援を受けてプレーするのを夢見ていました。小学校3年生から野球を始め、以来ポジションはほとんど投手でした。基金に参加した翌年(小6)は地区の全大会で優勝、市連盟の年間MVPをいただきました。中学では硬式野球の県東選抜で東日本大会にも出場しました。甲子園はもちろんです、憧れの東京六大学で野球が出来るよう、勉強も忘

ぼくのゆめは野球選手になつてサインを筆で書くことです。なぜかという選手サインは、いつもマジックで書いてあるけれど筆ならもっと迫力があつてカッコいいのになと思つているからです。

うちではお父さんとお兄ちゃんが書道をやっていてとても字がきれいです。それでぼくも書道をやっていふなつて習つていたけれど、野球を始めてから練習と重なつて教室に通えなくなつて今は休んでいます。

今は日本人が世界でかつやくしています。英語を書いたり話したりするのもしきれいで、筆できれいな字を書ける日本人はもっとかつこいいし、まわりから尊敬されると思います。WBCに出て、外国の野球ファンに筆でサインしたらびびりするだらうな。

れずに学校の授業を大切にしてください。おかげさまで慶應義塾大学の一貫校に進め、新チームでは投手として頑張っています。僕は野球が好きだったので、ずっと楽しんでやってきました。どうしたら上手になれるかいつも考え、研究しています。大学野球やその先も楽しみですが、今の夢は慶應志木高校の甲子園出場です。甲子園から早慶戦の大舞台で同学年である早稲田(実業)の清宮君と対戦したいです。

私たちは

「夢を追う

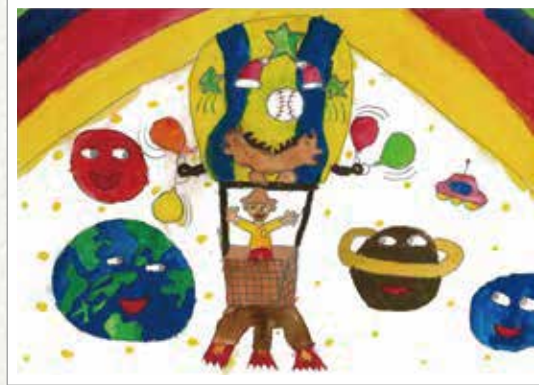
こどもたち」の

陰の応援団

こどもたちは、それぞれの小さな胸に刻んだ「夢」を守り、育み、成長させながら生きています。その純粋なまでに「夢」を追っている姿を夢みるこども基金は21年間見て来ました。1泊2日という僅かな時間の中で、全国から集まったこどもたちは互いを知り、ともに喜び笑ひ合い友情の絆を結んでいるようです。こどもたちから寄せられた作品を見ているとたくさんの「夢」に出会うことが出来ます。中には小学校低学年の時から毎年応募してくれるこどももあり、ずっと同じ夢を追ひ続けている子や年を重ねるごとに夢が変わっていく子ども様々です。「夢」を見ることの素晴らしさとそれが実現することの喜びをかみしめてほしいとの思いでキャンペーンを続けてきましたが、こどもたちから「夢」を見ることが追い続けることの大切さを学んでいるのは私たちなのかもしれせん。これまでのイベントに参加したOB・OGは300名を超えています。基金のキャンペーンに参加したこと

第17回

夢みるこどもキャンペーン「絵の部で入選受賞」



気球に乗って宇宙に行きたい

将来は人の役立つ仕事を

私の今の将来の夢は、人の役に立つ仕事につく事です。人の役に立つ仕事につく為にはまず、私自身がしっかりと自分を磨き、どんなことでも乗り越えて行く、たくましさで力強さを身につけることだと思っています。そんな自分に成長するために目標を掲げてがんばらなければなりません。毎日の生活や、学校生活でも、楽しいことばかりではありません。どんな事にも夢とやる気を持って取り組んでいます。その中のひと



福盛 紀世輝 君

2015...2011

鹿児島県 鹿児島市立
緑丘中学校3年



鹿児島県 鹿児島市立
川上小学校4年
(入賞当時)

気球に乗って宇宙に行きたいという夢があります。だから、この絵を描きました。

つに、絵を描いたり、現在も昇段試験等を受けていたり、続けている剣道も含まれています。最後まで何があってもあきらめず、夢をもって、将来はきっと人の役に立つ仕事につきたいと思っています。

第15回

夢みるこどもキャンペーン「絵の部で優秀賞受賞」



森をつくりたい

昨年参加した夢みるこども基金のイベントの体験を通して、森は温暖化を防ぐとても大切なものだと知りました。しかし、世界中で森林伐採など地球が抱える問題は、年々深刻化しています。私の夢は人やいろいろな動物が楽しめるそして、環境に優しい森を皆さんとつくりていきたいと思い、この絵を描きました。

濱屋 江里さん

2015...2009

神戸女学院大学
2年



大阪府 池田市立
池田中学校1年
(入賞当時)

自分の思いを人に伝えたい

私ははじめて夢みるこども基金に参加させて頂いてから、かなりの時間が経ち、その中で多くの素敵な出逢いをさせて頂きました。当時の私も現在も漠然としたやりたいことはあるもの

の幼い頃から特に何になりたいたいものがある。自分がやりたいものは何かを考えている最中です。大学生になり、今までとは異なった環境で、アルバイトなど新しいことをはじめたり、いろいろな人の話を聞くことで自分の中の価値観や取り巻く世界が大きく変わったのは事実です。様々なことに取り組み、そして4年間忙しい毎日を通して、自分自身の思いを人に伝える力を養っていきたくと思っています。なかなか難しいことですが、この伝える力があればこの先もたくさん自分のことを吸収して成長することができると信じています。また、基金の先輩方にもたくさんさんの刺激を受け、私も誰かの憧れになれるように夢を追いかけて続けたいと思います。

後の人生に大きな影響があったOB・OGたちもいます。「自分がこれからの人生を歩むために、基金のイベントに参加した11才の時の気持ちに振り返り、今参加しようと思った」と言っている今年のイベントに参加してくれた18才のOBがいました。その言葉を聞いたときに、これまで基金が積み上げてきた21年という歴史の重みとともに基金の存在意義を再確認しました。基金はこどもたちにとって「心のふるさと」なのです。

こどもの「夢」はいつも無限に広がっています。基金と関わったことで、夢が変わったこどもたちもいることでしょう。「こどもたちによるこどもたちのためのキャンペーン」としていつかこどもたちにバトンを渡せる日まで私たちはこれからもこどもたちの「夢」を応援していきます。(基金事務局)



夢みるこども基金 報告事項

夢みるこども基金の森

基金の森は、2010年にできました。5.6haの森林内は、ほとんど人の手が入らずに、自然のままの植生が残っています。今では、夏のイベントの目玉の一つです。また、イベントに参加した子どもたちが、夏休みなどで基金の森へ訪れたという話も、最近よく聞くようになりました。森の中で、子どもたちは秘密基地をつくったり、自然観察をしたりします。夏のイベントの度に、森にはこどもたちの笑い声が響きます。森の中でこどもたちが夢中になって楽しんでる姿をみていると自然に笑顔が浮かんできます。



夢みるこども基金の森「自然観察」

夢みるこども基金学校

基金の資金援助によって建設・開校したバングラデシュ「夢みるこども基金学校」は設立から15年が経ちました。年数が重なるにつれて生徒数も増加し、現在1,315名のこどもたちが学んでいます。昨年度高年生を対象に行われた公的な試験では、2,708校中7位の成績を残し、またスポーツや文化的なコンクール（歌や踊り、弁論大会など）でも多くの賞を獲得。学業成績や課外活動に対する評価も高く、県内だけでなく県外からも注目を浴び、この学校に在籍することがステータスシンボルとなっており、バングラデシュの新しい国づくりの人材が生まれることが期待されています。



バングラデシュ「夢みるこども基金学校高等部」

保護者の会

「保護者の会」が発足して1年、多くの保護者の皆様から「夢みるこども基金」へのご理解とご協力を頂いております。お住まいの地域やご利用の歯科医院への金属冠の浄財のお願い、個人からの金属冠の寄付の受付、「私のかねえたい夢」の作文・絵の募集の小・中学校へのお声掛け、春の表彰式とこども会議、夏のイベントへのご参加など、沢山のご協力を賜り、この活動は全国的な広がりを見せております。

こどもたちの小さな「かなえたい夢」を「実現する夢」へ。

その夢に支えられているのは、私たち大人ではないでしょうか。

「保護者の会」は、これからこどもたちの夢に寄り添いながら、前進して参ります。これからも皆様のご協力をお願いします。

保護者の会会長 緒方桃子

OB・OG会

OB・OG会は、昨年の20周年を記念して、新たに発足しました。過去にも、第10回のイベントなど、OB・OGで集まる機会はあったのですが、さらに、その繋がりを深めようと考えています。昨年にはじまり、今年の夏のイベントにも、OB・OGが参加するようになりました。イベント1日目の夜は、OB・OGの交流の場となっています。当時の夢の話や、今の自分の話、基金の話など、話題は多様です。OB・OG同士の交流もさかんになってきており、今後も継続的に繋がっていくことができると思っています。

協力歯科医院数

基金に金属冠を提供して下さる協力歯科医院はピーク時は1,800件でしたが、院長の高齢化などで現在は1,090件です。こどもたちの夢をかなえるためには協力歯科医院を増やすことが必要不可欠です。ご協力を！

平成27年9月1日現在

全国合計 **1,090**件



「夢」作品の応募者数

「わたしのかなえたい夢」作文・絵コンクールは、第1回から第21回（平成7年から27年）までたくさんの小・中学生からご応募頂いております。これからもみなさんのご応募をお待ちしています。

作文 **32,409**人
絵 **17,976**人
合計 **50,385**人

定期理事会

金属冠リサイクル益金は前年を上回る

夢みるこども基金の平成27年度定期理事会が5月22日、福岡市中央区の天神ビル11階3号室で開かれました。

9名の理事を含む役員など14名が出席。体調が悪く欠席した八尋晋策理事長に代わり、中島和男常任理事(西南学院大学教授)が「皆さんの協力で20年という年月を重ねることができました。未確定ではありますが福岡県が基金の活動を表彰してくださるような動きもあります。20年は単なる節目ではなく、他にも明るい話があり、基金の前途に明るい光が差し

て来るような気がします。夏のイベントにバン格拉デシュの「夢みるこども基金学校」から中学生5名と副校長が初めて参加くださることも決まっております。大変うれしく思っています。」と挨拶しました。

議事の第1部は役員改選。常任理事1名と事務局長(常任理事兼任)、理事1名の再任が承認されました。監事と顧問弁護士各1名の新任と実行委員5名の委嘱についても原案通り

承認されました。

この後、古市悟事務局長から平成26年度の活動と補綴金属の回収報告がありました。補綴金属は160件の回収で、総重量は49,614g。件数・重量は前年を下回ったがリサイクル益金は1,946万6,174円で前年を66万円上回りました。貴金属相場は大きな変動はないので寄付してくださった金属の品質がよかったと分析しています。また平成27年4月1日現在の協力歯科医院は1,090件。新規が1件、廃院などによる退会が8件でした。

議事の第2部では、吉田雅俊・顧問税理士が平成26年度の収支報告書と貸借対照表を示して会計決算を説明し、木村友則監事が「監査の結果適正である」と監査報告をしました。続いて古市事務局長が平成27年度の事業計画について、吉田顧問税理士が同予算案について説明しました。

夏のイベントについても事務局長から説明があり、8月22日と23日に佐賀市と福岡市で開

催予定で、今回初めてバン格拉デシュの夢みるこども基金学校から中学生5名(うち1名が男性)と副校長が参加する予定。バン格拉デシュから参加しての合同イベントは、両国のこどもたちの悲願でした。バングラデシュのこどもたちも22日の佐賀県・脊振山系の「夢みるこども基金の森」の前夜祭から参加します。本番の23日は初めて西南学院大学に会場を移し、西南コミュニティセンターホールで両国のこどもたちが歌や踊り、意見交換会などを通して友情を育みます。

これに伴い、今年度は夢みるこども基金学校に30万円の寄付金と6名の渡航費などとして65万円を寄付する案が承認されました。基金が九州盲導犬協会に贈呈を続けている盲導犬の「はっくん1,2号」が引退したため、基金の財政状況を見ながら「4号」を贈ることも承認されました。

基金運営については「盲導犬だけでなく、他の寄付を考えた方がいいのではないか」との意

見が出ましたが、「盲導犬はずっと続けてきたものであり、これまで通りでいい」との話になりました。

今後の運営について事務局長から「日本歯科医師会会長も新しい人が就任するので、歯科医師会との関係修復も含めて協力を得る方向に持って行き、協力歯科医院を増やしたい。また『夢』の作文・絵の応募も新しいルートの開拓などで増やしたい」などと述べました。



新任の長田 行生監事(左)と古賀 和孝顧問弁護士

人事

※敬称略

【常任理事】

再任 古川 洋(元 福岡放送専務取締役)

【事務局長】

再任 古市 悟

(元 読売新聞西部本社編集局部長、
元 スポーツ報知西部本社取締役編集部長)

(「夢みるこども基金」規約第13条2(3)、第25条および「夢みるこども基金」常任理事会規定第2条(1)により常任理事も兼務とする)

【理事】

再任 藤芳 素生(NPO法人日本水フォーラム監事、元 国土交通省近畿地方整備局長)

【監事】

新任 長田 行生(元 日本通運(株)常務執行役員・九州ブロック地域総括福岡支店長)

退任 山田 幸正(元 日本通運(株)常務取締役)

【顧問弁護士】

新任 古賀 和孝(古賀・花島法律事務所所長、元 日本弁護士連合会副会長)

退任 森 竹彦(森法律事務所所長、元 日本弁護士連合会副会長)

【実行委員】

再任 長尾 怜美(夢みるこども基金OB・OG会会長、歯科医師・歯学博士)

川越 文雄(西日本映像(株)社長)

藤井 隆行(福岡放送制作局エグゼクティブプロデューサー)

後藤 直弘(元 読売新聞西部本社写真部課長)

伊藤 実喜(医師)



歯医者さん ありがとう 企画



緒方 太郎 君
福岡市立横手小学校6年

第18回夢みることもキャンペーン「わたしのかなえたい夢」作文・絵コンクールにおいて、絵の部で最優秀賞を受賞。第19・20・21回同コンクールにおいても、絵の部で優秀賞を受賞。

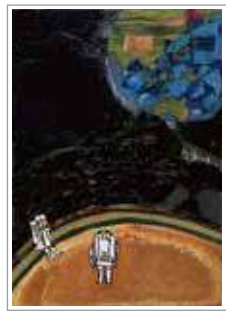
先生の支援に夢の達成でお返しを！

僕は小学校1年生の時から「宇宙飛行士になりたい」という夢を持っています。

自分が宇宙に行ってみたのはもちろんですが、最終目標は、人類の土星移住計画を進めることです。

約46億年後、太陽は赤色巨星と化し、地球は飲み込まれ、人類も含めて生命体は全て絶滅してしまいます。それを阻止するための計画です。

今すでに、火星に移住しようという計画が進んでいます。僕の考えでは火星やその他の星よりも、土星が適しているのです。



土星から地球を見てみたい

早く計画を進め移住出来れば、今後、東日本大震災の様な災害が起きた時などにもきつと役に立つと思います。

自分でも、非現実的な夢の様に思う時がありますが、この夢を支えてくれるのが「夢みることも基金」です。

この夏、僕は福岡市の「おかべ歯科医院」に「感謝状」を渡しに行きました。

院長の岡部知剛先生はとても優しく、小学生の僕に質問に、丁寧に答えてくださいました。僕も、岡部先生のように子どもに優しい大人になりたいなと思います。

感謝状をお渡しした後、先生の中国武芸の道場を見せていただきました。棚には沢山のト

岡部先生への一問一答

- 基金に協力してから、先生の意識の変化はありましたか？
処分される金属冠をリサイクルすることで、子どもの夢の実現に役立つことを実感しています。
- 先生はご自分のおこさんたちにどんな大人になってほしいですか？
自分が夢中になれること、輝けることを見つけて欲しいです。
- 全国の夢みることもたちへメッセージをお願いします。
自分の夢を見つけ、大切にしたい。そして、何をすればその夢が叶えられるのかを考え、その努力をしてほしいです。
- 基金へのご要望はありますか？
子どもの夢を実現するために、長期に渡って努力されてこれたご苦労に感謝申し上げます。今までとはまた違うイベントや基金により作りなどを視野に、20年間で大きく成長した子どもたちの力を加えて新たな一歩を築いてもらいたいです。

ロフイーが並んでいて、とても驚きました。

先生のこともさんたちに誘われて、リングのそばにあるロープ登りに初挑戦しましたが、50センチも登れませんでした。

岡部先生は、文武両道ですごいなあと思いました。

お別れする時も、家族皆さんで笑顔で見送ってください。本当に楽しい一日になりました。

僕たちはこんな素敵な歯医者さんに支えられているのだと思うと、もっともっと勉強して、必ず「夢」を達成しなくてはならないと思います。

「夢みることも基金」を支えているのは全国の歯医者さんです。これからの「夢」を追いかけ、僕たちを応援してください。



堀池 歯科

兵庫県川西市加茂



堀池 周司 院長

夢を持ち追いかけることは子どもたちにとって必要不可欠だと思います。私も医者を目指しており、その中で、実現でき、夢の大切さ必要さを実感しております。

古市事務局長の、子どもたちに対しての真直ぐな情熱にはいつも感心させられます。安心して金属冠を託せられますし、自分にできない素晴らしい活動なので一人の大人として今後も支援していきたいと思っています。



おかべ 歯科医院

福岡県福岡市早良区



岡部 知剛 院長

「夢みることも基金」とは歯科医師会からの紹介がきっかけで、もう20年の付き合いになります。子どもたちの夢実現活動はすばらしく、永く継続できているのは、やはり支えていただいたスタッフのご尽力のおかげだと思います。

力のおかけだと思います。夢を追いかけることは人生のエネルギー源・喜びになります。穏やかな気持ちで、人との和を大切に夢実現のため頑張ってください。

夢みるこども基金への思い

夢みるこども基金理事として初回の「夢」の応募作文選考の時、雑事を避けホテルに2泊して読み込んだ。こどもたちが懸命に書いた作品に点をつけるのは忍びなく、とても辛かった。

選考会の席上、外から招んだ著名人がペラペラと頁をめくり、1作文僅か1〜2分で次々に点をつけるのを見て頭に血が昇り、古市悟さん（事務局長）や藤野博史さん（元読売新聞記者でスタッフ）を困らせたのが今は懐かしい。

こどもたちの夢を理解するのにオジサン理事たちの古い心では頼りない。10年経って辞任の時、理事の中にこどもを入れるようお願いした。実現したのは嬉しい限りだ。

基金を辞した身で恐縮だが、南の国の貧しいこどもたちの歯を守るのに、予防の大切さと困窮度を考え、南の国に歯科衛



岡留 恒健さん(81才)

テニスデビスカップ 元日本代表

エベレスト無酸素登山

日本航空 元機長

著書：「人類の選択のとき」

「永い旅立ちへの日々」

「機長の空からの便り」

生士さんの養成学校を建ち上げたのが私の夢だ。

夢みるこどもたちの地球の未来が憂慮される。続く世代に美しい地球が残るのを祈って遺書のつもりで「人類の選択のとき」という怖い本を書いた。どうぞ読んで欲しい。古市さんは夢みるおとな、基金運営に注文を付けると眼を5角にして怒り出すが、私には優しくかつた。有難う。



第1回イベントに参加の岡留さん（熊本県阿蘇で、左は藤野さん）

バングラデシュの一行が 福岡県国際交流センターを表敬訪問

2015年8月19日に来日して基金のイベントに参加したバングラデシュの夢みるこども基金学校の副校長と中学生5名が帰国当日の25日、福岡市・アクロス福岡の福岡県国際交流センターを表敬訪問しました。

のこどもたちと親しくなり、勉強になったことが多かった。日本との絆が一気に深まった」と挨拶されました。

台風15号の直撃中でしたが、高崎陽子事務局長らが一行を温かく迎えてくださいました。ハサヌル・ザマン・ビッシャシユ副校長は「日本の環境のすばらしさに驚き、国づくりの参考にした。中学生もすぐ日本語

高崎事務局長も「日本語や英語などを勉強していつでも日本に来てください。そして友達をいっばいつくってほしい」と励ましてくださった。こどもたちも目を輝かせながらうなずいていました。

一行は予定通り同日午後6時45分福岡空港発の飛行機で9日間の旅を終えて帰国しました。



日本の印象について話すバングラデシュのこどもたち

コンサート収益金を寄付

福岡市中央区警固の調査・コンサルトメント業の福岡経営企画（池田浩一社長）はチャリティコンサート収益金の10万円を夢みるこども基金に寄付しました。

NHK交響楽団第一コンサートマスターの篠崎史紀さんや動物絵画の保坂真紀さんらが出演。3時間にわたりクラシックの演奏に合わせて力強い絵を描いて行き、ホール一杯の観客を楽しませました。

基金をラジオ番組でPR

同社は毎年、チャリティコンサートを開いており、今年は5月19日、福岡市中央区のアクロス・シンフォニーホールで「第23回 気ままに音楽の夕べチャリティコンサート 音楽と絵画の競演 第2弾」を開きました。

RKB毎日放送のラジオ番組「サンデークローズアップ」に8月9日、古市悟事務局長が出演して基金の活動や夏のイ

ベントをPRしました。番組は対談形式で聞き手は佐々木謙介さん（元NHKアナウンサー）と中嶋順子さん（元航空会社客室乗務員）。古市事務局長は2人の質問に答える形で、20年間にわたる基金の歩みや15年前に基金が開設してその後も運営を支援しているバングラデシュの「夢みるこども基金学校」の中学生5名と副校長を招いて8月22日と23日に開く予定の夏のイベントについてPRしました。



財源・運営などについて

Q1 夢みるこども基金はどんな団体ですか

こどもたちの夢を育み、実現するボランティア活動をしています。

Q2 それ以外の活動はありますか

阪神淡路大震災、新潟中越地震、スマトラ沖地震などに寄付をしたり、バングラデシュに学校建設と運営資金の援助、盲導犬の寄付などしています。

Q3 その財源はどうしていますか

歯科医院や歯科大学などの協力歯科医院から提供してもらった歯の金属冠をリサイクルして充てています。

Q4 協力歯科医院は現在何件ありますか

1,090件です。

Q5 どれ位の財源になりますか

現在は年間2,000万円位です。

Q6

協力歯科医院になるにはどうすればいいですか？

基金が毎年、秋に発行している「基金だより」の中に申し込みのFAX用紙を印刷しています。事務局に電話やメールで連絡してください。随時受け付けています。

Q7

協力歯科医院になったらどんなことをしますか

基金から金属冠を貯める回収箱とポスターなどが送られて来ます。

Q8

金属冠の回収はどんな方法ですか

毎年10月から11月にかけてが「金属冠定期回収月間」で、回収箱の中にある白いボトルに貯まっている金属を基金に送ってください。事務局へ連絡して頂ければ回収します。送料などは不要です。

Q9

駄目な金属などはありますか

金、銀、パラジウムなどが対象で、研磨バー、バンド、矯正のワイヤーなどは医療廃棄物となり基金で処分することができません。

歯科医院(歯科医)からのよくある質問 基金についてのQ & A

Q10

キャンペーンの対象のこどもはどうなっていますか

小学生と中学2年生までが対象です。3年生は進学準備があるのでイベント参加が難しいので外しています。

Q11

「夢」はどんな方法で集めますか

全国の小、中学校と養護学校などにチラシや呼び掛け文書を配布し、作文と絵を募集しています。毎年2,000〜4,000点が寄せられています。

Q12

その審査は誰が行っていますか

作文については基金の理事・役員22名が当たります。絵は基金の実行委員で絵・デザインの専門家がしています。

Q13

コンクールの表彰はいつ、どこでありますか

毎年3月の春休み中、上位入賞者(作文15名前後、絵15名前後)を福岡市に招待して表彰式をします。それ以外の入賞者(作文と絵を合わせて20名前後)と佳作についてはそれぞれの学校に贈り、表彰して頂いています。

Q14

夏休み中に開催されるイベントはいつ、だれが決めますか

上記の表彰式の時「こども会議」を開いて、こどもたちが決めます。こども会議ではこどもたちがそれぞれの作品に込めた「夢」などについて意見を述べます。毎年、活発な意見が出ます。これまで21回のイベントはすべて「こども会議」で決めたものを実現したものです。

Q15

このキャンペーンはいつまで続けられますか

全国のこどもたちはこのキャンペーンを楽しみにしており、夢が実現することのすばらしさと喜びをかみしめています。だから歯科医院などの協力がある限り続けようと思っています。

Q16

これまでイベントに参加したこどもたちはどうしていますか

イベントに参加したのは300名を超え、「OB・OG会」を作っています。こどもたちは「社会の宝」です。この中からこれらの日本を担う人材がたくさん出て来ると期待しています。

Q17

これまでイベントに参加したこどもたちはどうしていますか

イベントに参加したのは300名を超え、「OB・OG会」を作っています。こどもたちは「社会の宝」です。この中からこれらの日本を担う人材がたくさん出て来ると期待しています。



夢みるこどもキャンペーン・協力歯科医院申込FAX用紙

右のキリトリ線から切り取り、FAXにてご送信くださいますようお願い致します。

住 所	郵便番号	〒
	都道府県	
	市区郡町名番地	
	マンション名 ビル名	
医 院 名		ふりがな -----
院 長 名		ふりがな -----
T E L		() —
F A X		() —
* 通信欄（ご意見・ご要望などありましたらご記入ください）		

キ
リ
ト
リ
線

- *お申し込みをいただきましたら、事務局から待合室に貼るポスター、回収箱などをお送り致します。
- *定期回収は毎年秋ですが、補綴金属は随時受け付けています。少量でも結構です。
- *金属をお送りいただく際は、集荷フリーダイヤル(ゆうパック)【0800-0800-111】にお電話いただき“基金着払い”でお送りください。
- *事務局へ連絡くださっても結構です。
- *登録費、年会費はございません。

「基金の流れ」は背表紙に掲載しております。

「夢みるこどもキャンペーン」の活動については下記ホームページをご覧ください。

URL: <http://www.yumemirukodomo.jp>

ホームページを開設している歯科医院の方は基金ホームページへのリンクをご検討ください。



お申し込みFAX 番号

FAX 092-751-0249

※右のキリトリ線から切り取りFAXをお送りください。

10月と11月が金属冠定期回収月間です

ご入会について

協力歯科医院のお申し込みは随時受け付けています。18ページの申し込み用紙を切り取り、FAXにて送信してください。登録費、年会費はございません。ご入会いただくと、直ちにポスター、回収箱(木箱・内ボトル2個)をお送りします。内ボトルに金属冠を貯めていただき、基金事務局までお送りください。

金属冠は随時受付中

金属冠の回収は年間を通して受け付けていますが、特に10月と11月を強化月間としています。少量しか貯まっていなくてもかまいませんので、集荷フリーダイヤル(ゆうパック **フリーコール 0800-0800-111**)へ電話し、《基金着払い》でお送りください。直接基金事務局(☎092-751-0021)へ電話されても結構です。



金属冠集荷フリーダイヤル

ゆうパック



0800-0800-111

業者に委託しての
回収はしていません

夢みるこども基金は金属冠の回収を正確、クリアにするために、金属冠は基金に直接送っていただいています。これまで、一部の金属業者が「基金と提携している」「業者から基金に送る」とウソをついて、金属冠を持ち去るケースがありましたのでご注意ください。また、基金は設立時から国税局の指導を受けながら業務を進めており、協力歯科医院に対しては毎年度「基金だより」と一緒に決算書などを送付しています。金属冠を送っていただいた歯科医院などについては、その都度受領証と感謝状を送り、基金備え付けの帳簿に受け入れ年月日、重量などを細かく記録しています。課税関係などで問題が生じた時にも対応できるようになっていますのでご連絡ください。

事務局スタッフ紹介



人は夢があるから
生かされる。
こどもたちに
もっと自由で大きな夢を
見てもらいたい。

常任理事・事務局長
古市 悟



いつもみんなの夢を
応援しています。
夢みるこどもたちの
ために頑張ります。

スタッフ
松下 あゆみ



こどもたちの
夢がかなうよう
お手伝いさせて
いただきます。

スタッフ
行武 真基子

「すごく、すごく、すごく楽しかった」
イベント最終日にステージに上がったバングラデシユの女子中学生は、日本のこどもたちと過ごした2日間の感想を目を輝かせながら力強く話しました。今年のイベントはこの一言に凝縮されているような気がします。
日本とバングラデシユの合同のイベント開催は両国のこどもたちの願いでした。基金からの寄付で15年前に開設したバングラデシユの「夢みるこども基金学校」への基金からの支援は現在も続いており、小学校から中学校そして高校まで揃い、1,315人の児童生徒が学んでいます。保護者の人たちなども熱心で、基金学校は学業ばかりでなく、課外活動も含め、バングラデシユ国内でも注目されています。
今回、日本との合同イベントが決まり、渡航・滞在費は基金の負担になりましたが、参加者も一部持つことになりました。学校が参加を募ったところ、希望者が20人を超えました。基金の予算の関係で副校長と中学生5人の参加となりました。

編集後記

悲願実現

参加したこどもたちは驚くほど明るく、積極的でした。森の中での秘密基地づくり、またステージ上での歌や踊り、意見交換会など基金のこどもたちを圧倒するような感じでした。本番前に練習をしたばかりの「炭坑節」を浴衣姿で上手に踊りました。こどもたちには国境も言葉の違いなどはありません。こどもたちはお互いに異文化に触れ、すっかり仲良くなり、学ぶ点が多かったようです。
日本を離れた25日、一行と一緒に福岡市内にある福岡県国際交流センターを表敬訪問しました。こどもたちは「これまでの人生の中で最高に幸せだった」「街の清潔さにびっくりした」「このまま日本に残りたい」「また絶対に来る」と次々と話していました。
私は11年前、基金のこども代表らと基金学校を訪問しました。バングラデシユのこどもたちの夢と希望にあふれた瞳の輝きを今でも覚えています。今回のこどもたちはその輝きがさらに増し、胸を張って生きていくような感じを受けました。歯科医師の先生方を始め、多くの人たちと基金学校のこどもたちやバングラデシユの発展を祈りたいと思います。

常任理事・事務局長
古市 悟

今号の「夢みるこども基金だより」は内容を刷新しました。多くの方に読んでいただき、ご意見をいただければ幸いです。



発行 **夢みるこども基金事務局**

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目12番6号 赤坂Sビル2F
TEL 092-751-0021 FAX 092-751-0249 E-mail jimukyoku@yumemirukodomo.jp

<http://www.yumemirukodomo.jp>



facebook もご覧ください!

「夢みるこども基金」で検索してください!